



日本医療機能評価機構



し はつどう

医療法人 積発堂 富永草野病院



広報誌

# げんき



げんき君

GENKI

理念

技術に心を通わせて、地域に「元気」を吹き込みます。

基本方針

- 急性期医療に積極的に関与しつつ、介護・予防を含む広い視野に立って地域に貢献する。
- 奉仕の心で、患者さんが元気になるお手伝いをし、私たちスタッフも元気をもらう。
- 情報は慎重に状況を検討して開示し、徹底確実に管理する。
- 安心安全な医療を目指し、高度かつ心の通った技術を提供できるように、自己研修と人材育成に努める。
- 医療人である前に社会人として、常にチームワークを心がける。



## 「ミイラ取りがミイラになった日！」

整形外科 脊椎脊髄担当医 矢澤 隆

今年5月末に当院で全身麻酔下に頸椎後方手術を受けました。病名は頸椎症性脊髄症。症状は頸伸展時の項部、肩甲部痛、起床時のみの両手尺側部のしびれで、MRIを撮るまでは頸髄圧迫があるとは夢にも思っていませんでした。圧迫といってもstaticには軽度で、仮に患者さんが自分と同様な症状、画像所見であったら積極的な手術適応にはならない（しない）と思います。しかし、特に後頭部から項部にかけてのこわばるような痛みが尋常でなく、仕事（手術）にも支障が出てきたこともあり、脊髄症早期の症状なのだ自分に言い聞かせるようにして（患者さんに対してはさりと説明しているのに…）手術を決めました。執刀をお願いした先生には自分でもよく患者さんに行っている白石法（顕微鏡下頸椎後方低浸襲手術）でお願いしました。手術は約1時間30分程度で終わり、術後3日目に退院。術後数週間手指の痛みが出ましたがそれも自然に軽快し、術後2週間で仕事（手術）に完全復帰しました。脊髄の後方除圧で項部痛、肩甲部痛といった症状がどれほど改善されるのかといった心配（専門的興味）もありましたがほぼ消失しました。

自分にとって今回の手術は、脊椎外科医としての今後の診療に大きなプラスになる体験だったと思っています。外科医に必要なのは、ちょっとばかりのセンス（はやり向き不向きはあります）と、より多くの経験を積むことだと思っていますが、自分が日頃多くの患者さんに行っている手術を自分自身が受けた、というのは外科医にとってある意味究極の経験といってよいでしょう。積もうと思って積める経験ではないのです…。

追記：自分はまだ腰も悪い（通常自分がPLIF等行っている患者さんの画像よりはるかに悪い）ので下肢症状が出るようであれば手術（PLIF）もやむなしと思っていますが、頸の手術を受けてからより前向きに考えている自分がやばい？！。



↑ 私のMRI画像です！（手術前）



～今年で3年目！三糸夏まつり市民謡踊り流しに参加しました～

総勢216名のスタッフが去る7月30日、暑さのなが三色のハッピーに身を包み、「三糸音頭」「三糸おけさ」を踊りあげました。ご声援ありがとうございました。





# 麻酔への不安よ、さようなら! Q&A

手術を受けるということは、誰しも大きな不安をかかえることだと思います。当院では、十分に患者さまとコミュニケーションをとり、安心安全な最善の手術方法を決定し、おこなっております。そして手術の痛みを和らげるために常勤の麻酔医が2名おります。

麻酔科の田中 剛先生に麻酔のことについてお聞きしました。

## Q1 麻酔ってどういう種類があるの? どういう使い分けをするの?

大きく分けると全身麻酔と局所麻酔があります。全身麻酔は、麻酔薬を脳に作用させ、意識や痛みを感じなくさせます。局所麻酔には脊髄も膜下麻酔、硬膜外麻酔、神経ブロック法などがあり、麻酔薬を脊髄や手術する場所の神経に作用させ痛みをとります。頭部、胸部、腹部の手術はほとんど全身麻酔で行います。上肢、下肢の手術や皮膚表面などの手術は局所麻酔でも、全身麻酔でも可能です。

## Q2 麻酔を打つ日は、食事をしてもいいの?

全身麻酔の時胃の中に食べ物が残っていると、意識がなくなった後に嘔吐することがあります。吐いた食べ物は肺の中に入ることが多く、窒息や重症の肺炎(誤嚥性肺炎)をおこします。そのため手術当日は食事はできません。水分についても制限があります。具体的な時間は施設により異なりますので、お尋ねください。

## Q3 麻酔を打ってから、どれくらいで目が醒めるの?

全身麻酔薬は手術中持続的に投与しています。従って、麻酔薬を投与してからの時間ではなく麻酔薬を止めてからの時間が問題となります。通常は麻酔薬を止めてから10分から20分程度で意識はもどります。

## Q4 醒めたら痛い? すぐ歩けるの?

下半身や腹部の手術のときは全身麻酔に硬膜外麻酔を併用する機会が多いので術後の痛みはある程度軽減できると思います。それ以外の部位の手術では術中に静脈から鎮痛薬を使用する場合もあります。痛みは手術の大きさにも関係しますし、患者さんによっても感じ方が違います。醒めたあと痛みがあれば適宜鎮痛薬を使用します。

麻酔薬の影響だけを考えるとベッド上で寝返りをうったり、足を動かすことは可能ですが、歩けるかどうかは手術の部位、大きさが一番問題となりますので、主治医の先生の指示に従って下さい。

## Q5 注意点はあるの?

ふだん飲んでいる薬、高血圧、糖尿病、喘息などの持病、入れ歯や動揺歯などの情報は麻酔管理上重要ですので、診察の際にお教え下さい。また、手術当日風邪症状や発熱があると手術が延期になる場合がありますので、手術前の体調管理に御注意下さい。

## Q6 ドラマや映画であるような、一生、目が醒めなくなってしまうことってないの?

術前に大きな合併症がなく、通常の麻酔管理をした場合には、そのようなことはないと考えます。

## Q7 後遺症が残ることはないの?

全身麻酔の合併症として頻度の高いのは、喉の痛みなどの違和感や術後の悪心嘔吐などがあります。脊椎も膜下麻酔では頭痛があります。麻酔にはいろいろな薬を使うので、その薬に対するアレルギー反応が起きることもあります。いずれにしても時間の経過とともに回復します。重篤な合併症としては脳硬塞、心筋虚血、神経障害、悪性高熱症などがありますが頻度はかなり低いです。

いかがでしたでしょうか?

皆さまの笑顔のために、私たちはより安全な手術を行うよう常に最新の手術法を学び技術の向上に努めております。

## ロビーコンサート♪

(詳細は院内パンフレットやホームページでお知らせします)

入場  
無料

- ♪ 8月28日(土) PM4時~5時 モアナ・フォー(ハワイアン)
- ♪ 9月25日(土) PM3時~4時 飛燕メサイア(コーラス)
- ♪ 10月23日(土) PM3時~4時 \*佐藤英里(大崎小3年・ピアノ弾き語り)  
\*フレンドカルテット(ハーモニカ4重奏)

- ♪ 11月20日(土) PM3時~4時 クローバー(クラシック・トリオ)
- ♪ 12月18日(土) PM4時~5時 君 英夫カルテット(ジャズ)
- ♪ 1月29日(土) PM3時~4時 ニシカワバンド(歌謡曲)

■富永草野病院との関わりは？ 整形外科の諸先生はもちろん、内科の先生方にもとてもお世話になっています。富永草野病院を希望される患者さん、手術や検査が必要そうな患者さんを紹介させて頂いています。

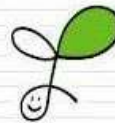
■病診連携をどのように思われますか？ とてもありがたいと思っています。私は消化器内科が専門ですので、それ以外の患者さんについて困った時に紹介させて頂くのですが、丁寧なアドバイスを返して頂けるので助かっています。今後もよろしくお願致します。

■開業されて何年経ちますか？ 5年目です。いつまで経っても未熟で…。いつも他の先生方に相談したいと思います。勤務医の時と開業してからの「開業」のイメージのギャップは大きく、今は責任をととても重く感じています。

■先生の自己PR 全力投球で診療をしますが、分からない時には「分からない」と正直に患者さんに申し上げられる誠実さを持っていたいと思います。

■先生のご趣味は？ ドライブ。運転をするのが好きです。去年、朝3時に出発して秋田へ行ってきました。家族と一緒になのがいいです。

■先生のコトワザは？ 初心を忘れないこと。初心を忘れがちなので…(笑)。クリニックのマークも初心者マークに見えるかもしれませんが、初心を忘れないようにとの気持ちもあって採用しました。



■夢がひとつ叶うとします。先生の夢はどんな夢？ 1ヶ月位休んでみたいですね。海外の人達は普通に1ヶ月のパケーションをとっていますが、いいですね。嫌ってうほど休んでみたいです。南の島にでも行ってボートとしていたいですね。

■富永草野病院に望むことは？ 今のままでいて下さい。病診連携も今のままでいて下さい。頂いたお返事に沿ってやっていきますので、よろしくお願致します。

### DATA

院 名：やまぐち内科クリニック  
院 長：山口 修先生  
診療科目：内科・消化器内科  
アレルギー科  
住 所：三条市鶴田2丁目1-6-5  
電話番号：0256-39-0111

とても謙虚な先生。真剣に誠意を持って診療に当たられているご様子が目に浮かびます。クリニックの玄関には殺菌灯つきオゾン気流処理のスリッパ入れが。クリニックに入る時から安心感を得られる…そんな気がしました。



# 富永草野病院の歴史

第4回

丸山幸男 (医療法人 積発堂 理事)



六代目充庵(格・蒲洲先生)の没年は明治12年(1879年)である。時に嗣子敦(あつし)は、未だ13才であった。そこで、充庵の弟 忠純(直・雨奇山人)が長岡から富永に帰り家業を継いだ事は前述の通りであるが、敦は叔父忠純に育てられた事になる。

江戸時代末期、医学界に於ては西洋医学が取り入れられたが、蘭学としてある種の断崖を受けていた。明治維新以後文明開化が始まると同時に積極的に西洋文明が取り入れられ、医学界に於ても西洋医学への転換を迎える事になる。

新潟に於いても明治12年(1879年)新潟病院医学所が西洋医学を取り入れるべく新潟医学校と改称されている。

さて、敦は初めこの新潟医学校で学び、やがて東京へ出て医学を学んだ。

明治16年(1883年)太政官により医術開業試験規則・医師免許規則が制定された。

敦は明治17年(1884年)3月、医術開業前期試験を受け合格した(写真①)。若干18才である。そして、その後僅か2年にして後期試験を受け合格した(写真②)。(前期・後期を僅か2年で合格した人物は十数年後に出た野口英世がいると云われている。)

かくして、医師免許を獲得した敦は、故郷新潟に戻り家業を継ぐが、内務省公認の医師としてこの地方の第1号となる。



(写真①)



(写真②)

		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	整形外科	矢澤 隆 (脊椎脊髄)	鈴木 禎宏 (膝・スポーツ医学)	中曽根 豊 (下肢)	草野 望 (手の外科)	鈴木 禎宏 (膝・スポーツ医学)	草野 望 (手の外科)
			遠山知香子 (リウマチ)	米高 理 (脊椎脊髄)	萩原 浩好 (手の外科)	矢澤 隆 (脊椎脊髄)	中禮 康雄 (2・4週/手の外科)
						牧 裕 (2・4週/手の外科)	萩原 浩好 (1・3・5週/手の外科)
	形成外科						藤田 祐子
	内科	青木あづさ			青木あづさ		
午後 (14:30~17:00)	整形外科	中曽根 豊 (下肢)	鈴木 禎宏 (膝・スポーツ医学)	中曽根 豊 (下肢)	草野 望 (手の外科)	矢澤 隆 (脊椎脊髄)	大学医師 (救急対応)
		米高 理 (脊椎脊髄)		矢澤 隆 (脊椎脊髄)	萩原 浩好 (手の外科)		
	形成外科				藤田 祐子		

※外来は完全予約制です。(他院からの初診のご紹介患者様を除く)  
 ※詳しくは電話にて、ご相談、ご予約願います。予約専用電話番号(0256)35-6211

富永草野クリニック

		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	整形外科	草野 恒輔 (11:00まで)	草野 恒輔	草野 恒輔	草野 恒輔	草野 恒輔	草野 恒輔 (1・3・5週)
		滝澤 隆史	滝澤 隆史	遠山知香子	滝澤 隆史	滝澤 隆史	中曽根 豊 (2・4週)
		中禮 康雄 (11:00まで)	中禮 康雄 (11:00まで)			中禮 康雄 (11:00まで)	中禮 康雄 (2週)
							萩原 浩好 (2・4週)
	内科 (循環器内科)	草野 頼子	広川 陽一	広川 陽一	広川 陽一	草野 頼子	広川 陽一 (4週)
							草野 頼子 (2週)
午後 (15:00~18:00)	整形外科	外川誠一郎	草野 望	鈴木 禎宏		草野 望	
		矢澤 隆 (1・2・4・5週)	遠山知香子 (17:30まで)	遠山知香子 (17:00まで)		萩原 浩好	
		草野 恒輔 (3週)		米高 理 (17:00から)			
	内科 (循環器内科)	広川 陽一	休診	広川 陽一	広川 陽一	広川 陽一	休診

※上記、外来診療担当表(病院・クリニックとも)は救急対応等により変更する場合がございますのでお問合せください。

編集後記 The editor's notes...

この夏、我が家の電気ブレーカーが頻繁に落ちることがあり、長年お付き合いの電気屋さんに見てもらいました。すると電気さんが部屋にある「クーラー」を見て絶句!「まだ、使っていたの!」と。確かに30年くらい前にその電気さんが中古でつけてくれた「クーラー」です(エアコンではありません)。温度調節無しのカンカン冷えるタイプなので、寒いくらいに今でも冷えます。電気さんは停電の原因は、これだと思ったのですが全く大丈夫でした。昔のクーラーは「電気すごく喰って大変、エコにしない?」と言われてましたが、ここまで来ると使えるのに買い替えなんて可哀そうという気がしてなかなか…。良いものにボンボン買い替える時代ですが、少々電気代はかかっても、長く使い続けることも資源の有効利用のエコかな〜と。いやいや、当面の懐のエコかな…。(@まるの)

追伸:「げんき君らが通う妖精学校とは?」…生徒は、妖精の他にも妖怪や怪獣も通学している。所在は不明だが、8時30分から始まるらしい。授業は、一般常識と魔法。怖い先生が多く、厳しい掟あり。通知表や家庭訪問もあるらしいが、いまだ目撃したことはない。。。



医療法人 積発堂 富永草野病院 「げんき」編集部

〒955-0046 新潟県三条市興野2丁目2番25号 TEL.0256-36-8777 FAX.0256-35-6212

http://www.shihatsudo.or.jp

印刷:中越印刷株式会社:三条市